様式45

 避雷装置点検表

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  検査項目 |  　 検査内容 |  補正･補修事項 |  判 定 |
|  突針又は 架空線 　 |  被保護建物は突針の先端（架空線の上端）から45度の範囲内にあるか。 |  | 適・否 |
|  被保護建物の上端から突針の先端まで25ｃｍ（架空線の上端まで３ｍ）以上あるか。 |  | 適・否 |
|  突針は垂直に、架空線は水平になっているか。 |  | 適・否 |
|  突針（架空線）は避雷導線によって接地電極に接続してあるか。 |  | 適・否 |
|  避雷導線 |  被保護建物の上端以下は２条以上になり、引き離して設けてあるか。 |  | 適・否 |
|  直線的（わん曲部の半径は20ｃｍ以上）に、かつ建物の最外側に沿って設けてあるか。 |  | 適・否 |
|  電燈線、雨どい、その他の金属製の物から１ｍ以上離れているか。 |  | 適・否 |
|  避雷針又は 　 架空地線 |  独立して設けた場合は、建物から2.5ｍ以上離れているか。 |  | 適・否 |
|  雷撃、風圧等により損傷が生じないよう堅固に設置してあるか。 |  | 適・否 |
|  支線は支持点において避雷導線に接続してあるか。 |  | 適・否 |
|  接地電極 |  避雷導線ごとに１個以上あるか。 |  | 適・否 |
|  周囲１ｍ未満にガス管は埋設されてないか。 |  | 適・否 |
|  接地抵抗は検査証明書のとおり。　（　　　　　　Ω） |  | 適・否 |
| 構造 |  突 針 |  銅棒、直径12ｍｍ以上　　（ 　・ ｍｍ） |  | 適・否 |
|  架空線 |  銅線、断面積30ｍｍ以上　（　　　　　・　　　ｍｍ） |  | 適・否 |
|  避 雷 導 線 |  銅線、断面積30ｍｍ以上 （　　　　　・　　　ｍｍ） |  | 適・否 |
|  接 地 電 極 |  銅板 （　　　　　　　　　　　） |  | 適・否 |
|  備 考 |  |  |  |